



柏市学校図書館だより

中学校版
第4号
令和7年12月
柏市学校図書館

寒さが一層厳しくなりました。この一年、皆さんはどんな本を読みましたか。12月は師走（しわす）とも言われ、何かと忙しい時期ですが、暖かい部屋でゆっくりと読書をするのもいいですね。学校図書館では冬に読みたい本をたくさん準備して、皆さんを待っています。

一年の節目に・・・

日本の食文化を知る

季節の行事食「おせち料理」

お正月にいただくおせち料理は、古来よりお祝いやお祈りの気持ちが込められています。それぞれの食材に込められた願いを知り、健康や幸せを祈りながら食べてみてはどうでしょう。

おせちクイズ！この願いがこめられてる食材は何か？

- ① 丈夫で健康、まめに働けますように ② 子どもがたくさんできますように
 - ③ 腰が曲がるまで長生きできますように 『知ると楽しい！和食のひみつ 世界に広がるニッポンの食文化』
- 「和食のひみつ」編集部（著）メイツユニバーサルコンテンツ



進路について考える

年毎⑥ 土の嶺② 百箇①と景

年末年始に一年を振り返り、次の目標について考える人もいるのではないのでしょうか。学校図書館には、将来について考える本がたくさんあります。本を読んで、自分の進路について考えてみませんか。

『手紙屋 蛭雪篇』

私の受験勉強を変えた十通の手紙』

喜多川泰（著）

ディスカヴァー・トゥエンティワン〈NDC159〉

皆さんは「何のために勉強するんだろう？」と考えたことがありますか。進学するためでしょうか。この本では、進路に悩む女子高生、和花が「手紙屋」とのやり取りから、自分なりの答えを見つけていきます。



『なりたい自分との出会い方』

世界に飛び出したボクが伝えたいこと』

岡本啓史（著）岩波書店〈NDC159〉

「自分らしい生き方ってなんだろう？」「やりたいことが見つからない」「好きなことがいくつもある」など、将来の生き方について悩む皆さんへおすすめです。国連や国際NGOなどで40カ国以上の子どもの学びをサポートしている著者が、自らの体験から、多様な生き方をアドバイスします。



おすすめ本

テーマ【冬に読みたい本】

『俺たちの箱根駅伝 上・下』

池井戸潤（著）文藝春秋〈NDC913〉

箱根駅伝の出場をかけて10月の予選会に挑む明誠学院4年生の主将・隼斗。「本選3位」という前代未聞の目標に掲げる「関東学生連合」の選手たち。そして、学生を見守る監督やテレビ中継スタッフなど、箱根駅伝に関わる多くの人々熱い思いが、疾走感たっぷりに描かれます。



『北国からの手紙』

キタキツネが教えてくれたこと』

井上浩輝（著）アスコム〈NDC740〉

キタキツネを中心に、動物がいる自然風景を撮影している著者。北海道の美しい写真と共に、自身の半生や、人間が動物の一員として、どう自然と関わっていくのかを綴る、自然への愛があふれるフォトエッセイです。



☆紹介した本は、自校で所蔵していないものもあります。

柏市学校図書館だよりは5月・7月・10月・12月・3月の発行予定です。